

平成 19 年 12 月 19 日
環境局環境經濟部環境産業政策室
主幹：柴田俊雄
主査：杉野元治
T E L : 5 8 2 - 2 6 3 0

北九州 P C B 廃棄物処理施設 溶剤サンプル採取装置からの溶剤の漏洩について

平成 19 年 12 月 18 日午前 11 時 55 分頃、日本環境安全事業(株)の北九州事業所（北九州市若松区響町）において、溶剤蒸留塔のサンプル採取装置からの溶剤漏れが発見され、直ちに元弁を閉止し漏洩を止めたとの報告がありましたので、お知らせいたします。

今回の漏洩は、巡回点検の約 1 時間後に発見されたものです。

なお、今回の事象による P C B の施設外部への漏洩や作業員への影響はありません。

類似箇所を含め点検を行い、漏れのないことを確認しました。

なお、原因については現在調査中です（現在、元弁を閉止し漏洩部分の使用を停止しています）。

（別添 日本環境安全事業(株)ホームページ発表資料

<http://www.jesconet.co.jp/facility/kitakyushu/pdf/071218.pdf>)

News Release

平成 19 年 12 月 18 日

溶剤サンプル採取装置からの溶剤の漏洩について

平成 19 年 12 月 18 日 11 時 55 分頃、当社北九州 P C B 廃棄物処理施設 3 F 溶剤蒸留塔のサンプル採取装置から溶剤が漏れているのが発見され、直ちに元弁を閉止し漏洩を止めました。

漏洩した溶剤は P C B を分離した後のものであり、P C B の施設外への漏洩や作業員への影響はありません。

1. 溶剤蒸留塔は、処理物を洗浄した溶剤から P C B を分離する設備です。この設備にはサンプル採取装置が取り付けられていますが、平成 19 年 12 月 18 日 11 時 55 分頃、サンプルを採取するチューブから溶剤が滴り落ちているのを作業員が発見し、直ちに元弁を閉止し漏洩を止めました。漏洩した溶剤は約 5 リットルで、拭き取り回収しました。この溶剤は P C B を分離した後のものであり、P C B はほとんど含まれておりません。
2. この部屋の換気は活性炭を通して外部へ出しております。出口で測定した結果では P C B は検出されていません。また、施設内の空気中の P C B 濃度も異常ありません。
3. 事業所では、類似箇所も含め点検を行い引き続き安全を確保してまいります。

<連絡先>

日本環境安全事業株式会社北九州事業所

所長 千葉 高生 (TEL 093 - 752 - 1113)

安全対策室長 入江 敦史 (同上)